

瀬田川プランクトン調査結果速報

滋賀県立衛生環境センター

琵琶湖水質担当

昭和59年6月18日

第11報

植物プランクトン

(綱) 種 名	細胞数 (群体数)	優占種(占有率)	
		数	体積
(藍) <i>Aphanothece</i> sp.*	80		
(藍) <i>Anabaena macrospora</i> *	40		
(藍) <i>Phormidium tenue</i> *	260		
(藍) <i>Phormidium</i> sp.*	20		
(珪) <i>Melosira granulata</i>	520	◎	○
(珪) <i>Melosira italica</i>	40		
(珪) <i>Cyclotella</i> sp.	20		
(珪) <i>Fragilaria crotonensis</i>	200		
(珪) <i>Nitzschia acicularis</i>	20		
(珪) <i>Nitzschia</i> sp.	20		
(褐) <i>Cryptomonas</i> sp.	180		
(緑) <i>Dictyosphaerium pulchellum</i>	320	○	
(緑) <i>Planktosphaeria gelatinosa</i>	120		
(緑) <i>Ankistrodesmus falcatus</i> var. <i>mirabile</i>	60		
(緑) <i>Pediastrum biwae</i>	320	○	
(緑) <i>Mougeotia</i> sp.	100		◎
(緑) <i>Closterium</i> sp.	20		
(藍) 藍藻綱	400	17.1	7.5
(黄) 黄緑藻綱	0	0.0	0.0
(黄鞭) 黄色鞭毛藻綱	0	0.0	0.0
(珪) 珪藻綱	820	35.0	18.8
(渦) 渦鞭毛藻綱	0	0.0	0.0
(褐) 褐色鞭毛藻綱	180	7.7	6.4
(み) みどり虫藻綱	0	0.0	0.0
(緑) 緑藻綱	940	40.2	67.3
(他) その他のプランクトン	0	0.0	0.0
総細胞数	2340	総体積 (μm ³) 4.79E+06	
種類数	17		

注1) 細胞数の単位は(細胞/ml)

ただし*印の種は群体数(群体/ml)

注2) 優占種は◎が第1優占種、○が第2優占種
数字は各綱ごとの占有率(単位:%)

注3) 細胞体積は、顕微鏡観察による画像から
試験的に推定した概算値である。

植物プランクトン優占種

第1優占種		細胞数 (細胞数/ml)
珪藻綱	<i>Melosira granulata</i>	520

第2優占種		細胞数 (細胞数/ml)
緑藻綱	<i>Pediastrum biwae</i>	320

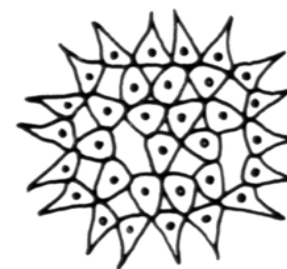
植物プランクトン第1優占種



Melosira granulata
(メロシラグラヌラータ)
珪藻綱

細胞は円筒形で、糸状の群体を形成する。群体の両端に顕著な長い剛毛を1~3本有する。

植物プランクトン第2優占種



Pediastrum biwae
(ビワクンショウモ)
緑藻綱

16, 32, 64細胞からなる群体を形成する。各細胞は1本の角状突起を持ち、突起同士が対をなすのが特徴である。琵琶湖の固有種とされ、ビワクンショウモと呼ばれている。